



令和7年12月7日
統合幕僚監部

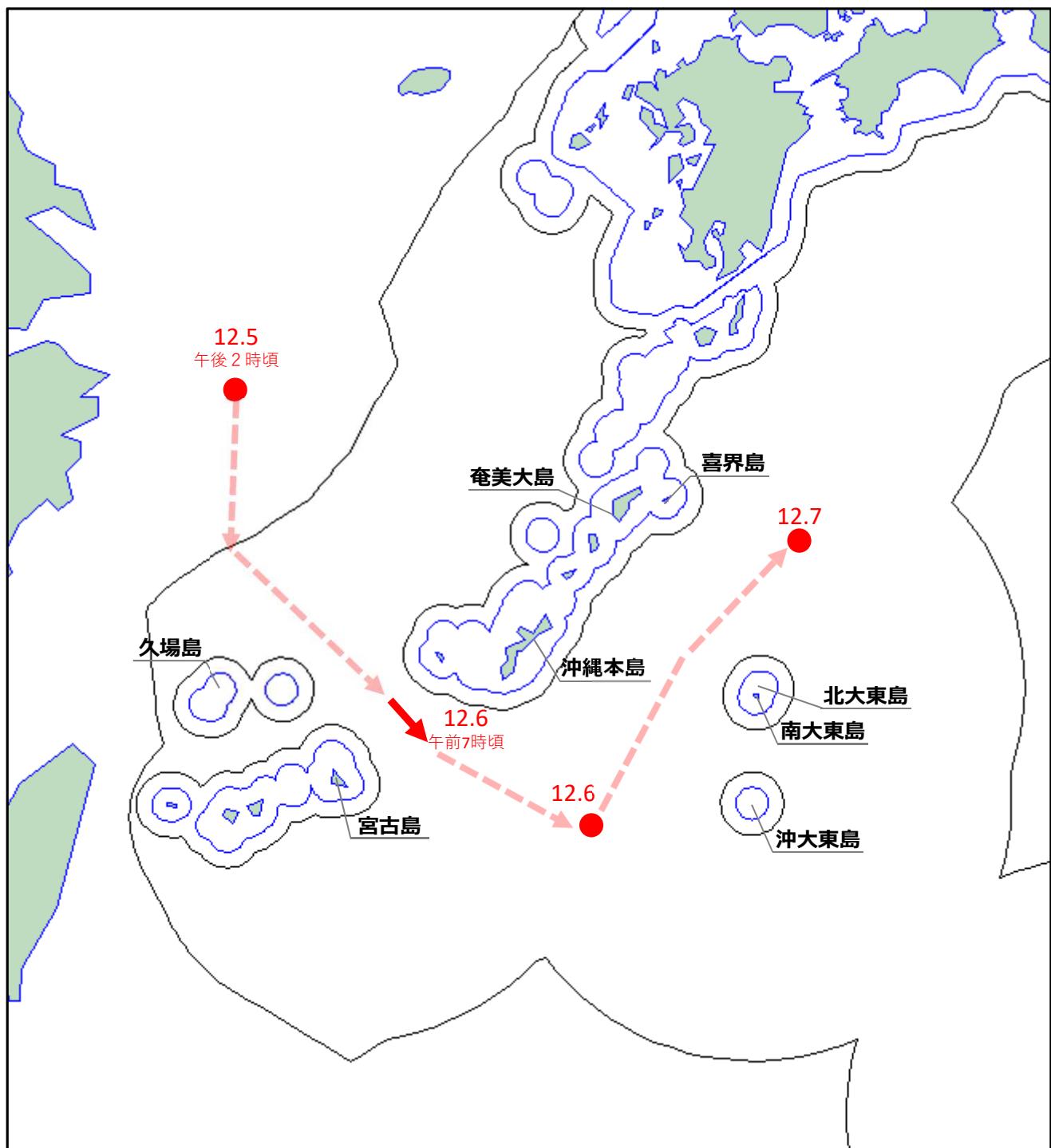
中国海軍艦艇の動向について

海上自衛隊は、令和7年12月5日（金）から6日（土）に引き続き、12月7日（日）、クズネツォフ級空母「遼寧」、レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「101」）及びルーヤンIII級ミサイル駆逐艦2隻（艦番号「117」及び「124」）の計4隻が、沖縄本島と南大東島（沖縄県）との間の海域を北東進し、喜界島（鹿児島県）の東約190kmの海域を東進していることを確認した。

また、12月6日（土）に、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」の艦載戦闘機及び艦載ヘリによる発着艦を約50回、7日（日）に、艦載戦闘機等による発着艦を約50回確認した。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第6護衛隊所属「てるづき」（横須賀）により、警戒監視・情報収集を行った。また、艦載戦闘機の発着艦に対し、航空自衛隊の戦闘機を緊急発進させる等の対応を行った。

行 動 概 要



● - - → : 中国空母「遼寧」の動き